

東北地方・太平洋沖地震による被害について

2011年3月11日に発生しました東北地方・太平洋沖地震とそれに伴う津波の被害を受け、当社主要子会社である日本製紙株式会社（社長：芳賀義雄）の石巻工場（宮城県石巻市）岩沼工場（宮城県岩沼市）および勿来工場（福島県いわき市）は操業を全停止しております。それら3工場の現時点における状況について、次のとおりお知らせいたします。

記

1. 従業員の安否確認状況

日本製紙株式会社

石巻工場	従業員数 822 名	無事 817 名、死亡 2 名、安否未確認 3 名
岩沼工場	従業員数 361 名	無事 360 名、安否未確認 1 名
勿来工場	従業員数 210 名	210 名全員無事

誠に残念ながら従業員2名の死亡情報を確認いたしました。このたびの地震・津波の犠牲となり亡くなった従業員に対し、心よりご冥福をお祈り申し上げます。
なお日本製紙は、依然安否がわからない従業員の確認に努めるとともに、3工場それぞれの関係会社の従業員につきましても引き続き安否確認に努めてまいります。

2. 操業を全停止している3工場の現状

日本製紙 石巻工場（宮城県石巻市）

- ・引き続き操業は全停止しております。
- ・現在は津波により工場構内に堆積した土砂や瓦礫、散乱した資材等の除去を進めております。
- ・工場設備につきましては、N6マシンをはじめとする各抄紙機の建屋1階は津波の浸水により電気設備等が被害を受けておりますが、2階に設置されている抄紙機本体はほぼ無傷であることが判明いたしました。当面は各抄紙機の1階部分の整備・復旧に努めてまいります。
- ・同工場は、津波による被害甚大のため復興までには時間を要すると思われませんが、抄紙機本体への被害がないことから、できる限り早期に生産を再開できるよう努めてまいります。

日本製紙 岩沼工場（宮城県岩沼市）

- ・引き続き操業は全停止しております。
- ・一昨日までに製品倉庫の整理を完了いたしました。当初見込みより被害は小さく、新聞用紙は8割以上が出荷可能な状況であることが判明いたしました。現在、被害を受けなかった在庫製品の出荷を進めております。
- ・津波の被害により使用不可となっていた排水場の排水ポンプが稼働を再開いたしました。
- ・今後はボイラーを再稼働させ、比較的地震による被害の小さい一部抄紙機から早期に生産の再開を目指してまいります。

日本製紙 勿来工場（福島県いわき市）

- ・引き続き操業は全停止しております。
- ・現在、製品倉庫の整理を進めておりますが、当初見込みより被害は小さいことが判明してきており、順次、被害を受けなかった在庫製品の出荷を進めております。
- ・今後はボイラーを再稼働させ、早期に生産の再開を目指してまいります。

以上